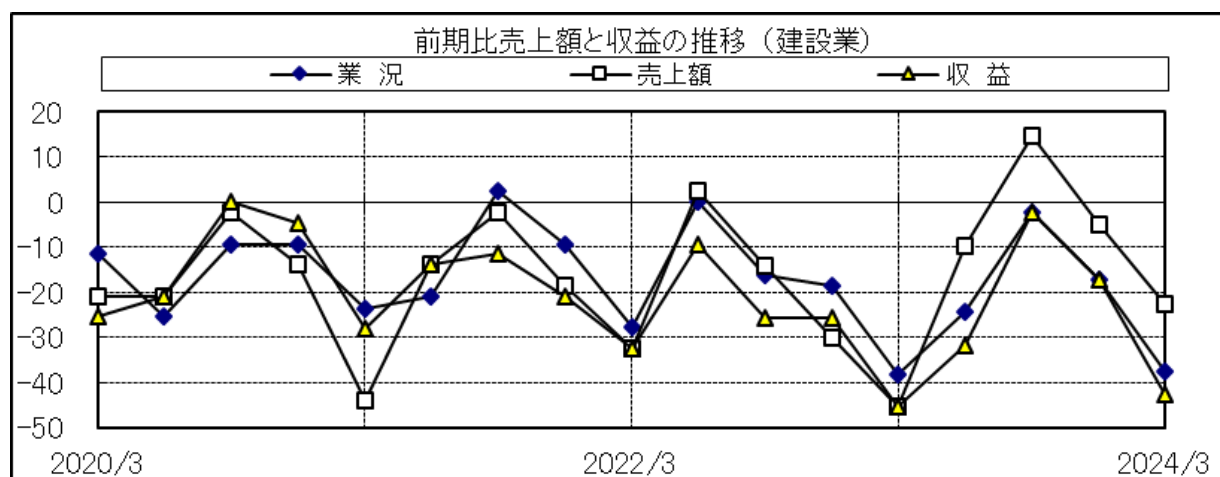


建設業 40 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-2.5	-17.1	-37.5	2.5
売上額	14.7	-5.0	-22.5	17.5
収 益	-2.5	-17.1	-42.5	12.5

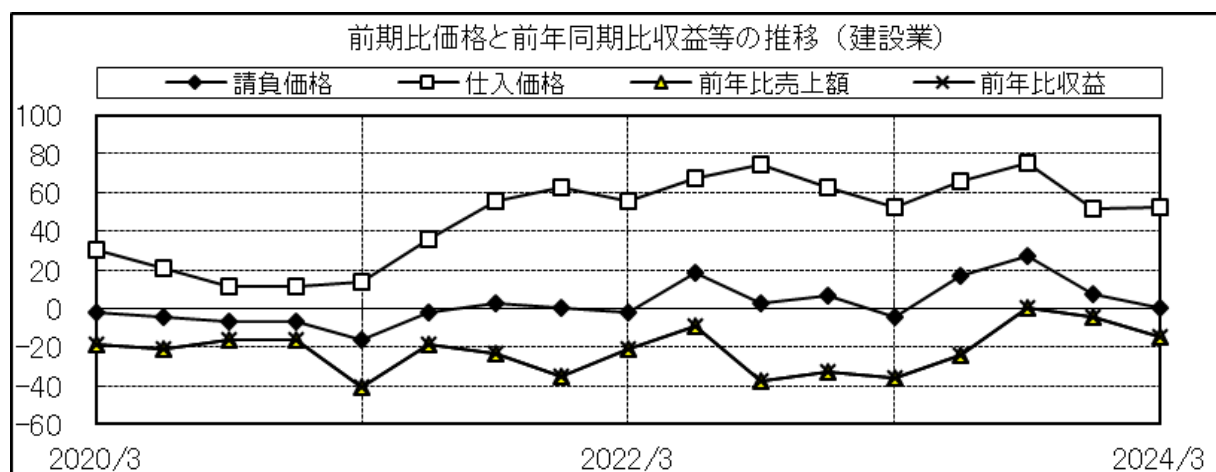
今期の業況判断 D. I. は△37.5 で、前期比 20.4 ポイント下降、前年(△38.2)比で 0.7 ポイント上昇した。地区別 D. I. の水準は高い順に、浦河・静内が同率で最も高く、次に様似、えりも、三石と続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、△22.5 で、前期比 17.5 ポイント下降。収益判断 D. I. は△42.5 で、前期比 25.4 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
請負価格	26.8	7.2	0.0	15.0
仕入価格	75.6	51.2	52.5	45.0

請負価格判断 D. I. は 0.0 で、前期比 7.2 ポイント下降、前年(△4.8)比では 4.8 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 52.5 で、前期比 1.3 ポイント上昇した。前年(52.4)比では 0.1 ポイント上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	-9.7	-2.4	-2.5	-7.5
人手状況	-43.9	-29.4	-35.0	-30.0

残業時間判断 D. I. は△2.5 で、前期比 0.1 ポイント下降し、残業時間がやや減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△35.0 で、前期比 5.6 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

□ 設備投資の動き

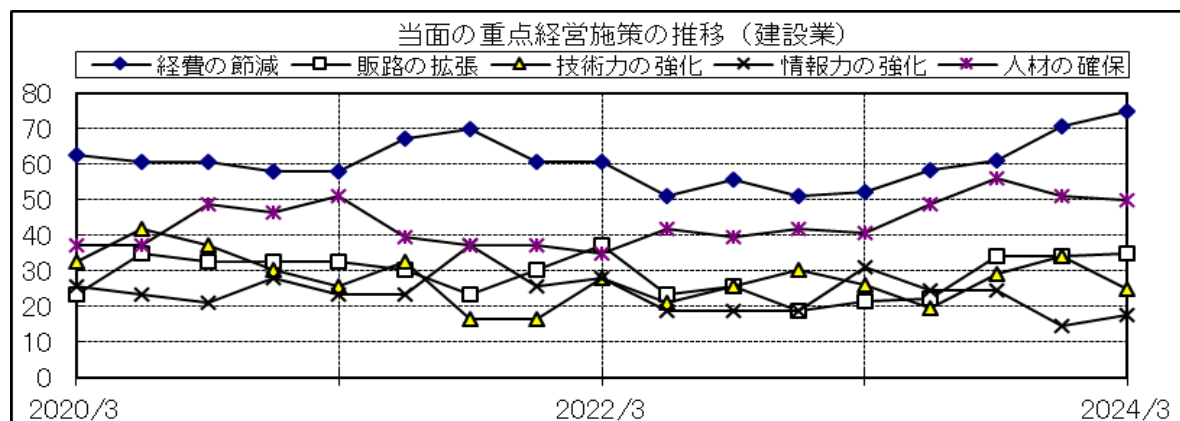
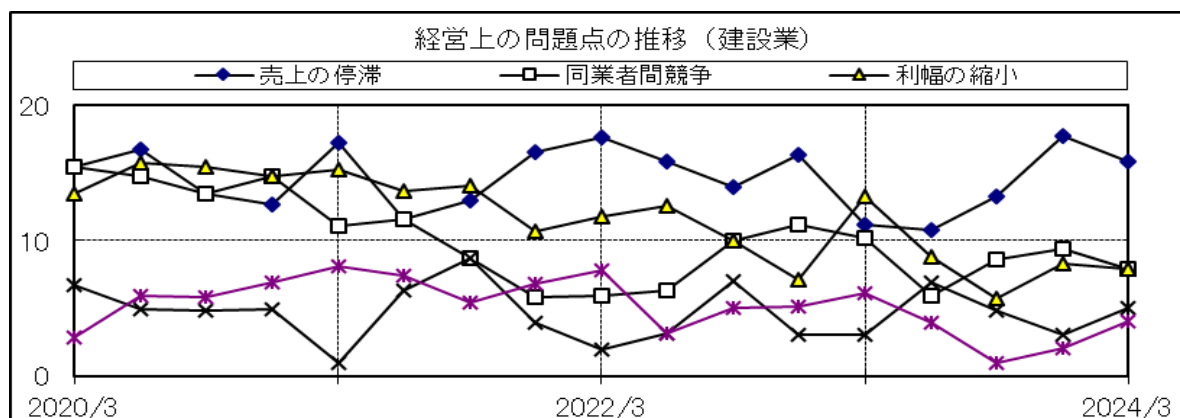
設備投資の充足感を示すD. I. は△5.0で、前期(0.0)比5.0ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は10.0で、前期(12.2)比2.2ポイント下降した。設備投資は、前期5社に対し、4社の実施となった。来期の設備投資は、8社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「人手不足」が21.8%と最も多く、次に「材料価格上昇」20.8%、「売上停滞減少」15.8%、「同業者競争」・「利幅縮小」が7.9%、「下請確保難」5.9%、「人件費増加」5.0%、「技術力不足」・「地場産業衰退」が4.0%、「大手企業競争」・「天候不順」が2.0%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が75.0%と最も多く、次に「人材確保」50.0%、「販路拡大」35.0%、「技術力強化」25.0%、「情報力強化」17.5%、「労働条件改善」10.0%、「新工法導入」・「教育訓練強化」が5.0%、「パート化」2.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は2.5と、今期比40.0ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は17.5と、今期比40.0ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は12.5と、今期比55.0ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I. は15.0と、今期比15.0ポイントの上昇を見通している。

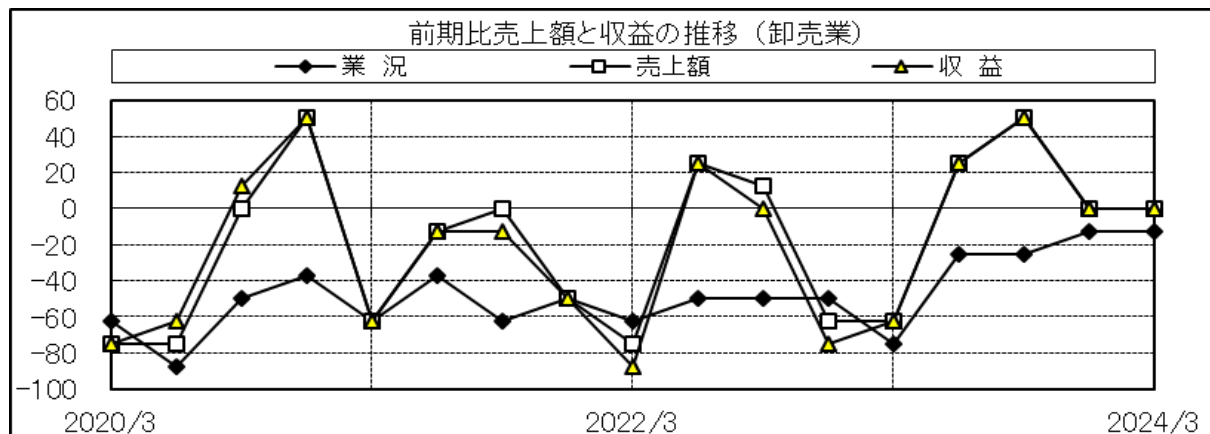
予想仕入価格判断D. I. は45.0と、今期比7.5ポイントの下降を見通している。

卸 売 業 8 企 業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-25.0	-12.5	-50.0	0.0
売上額	50.0	0.0	-37.5	37.5
収 益	50.0	0.0	-37.5	37.5

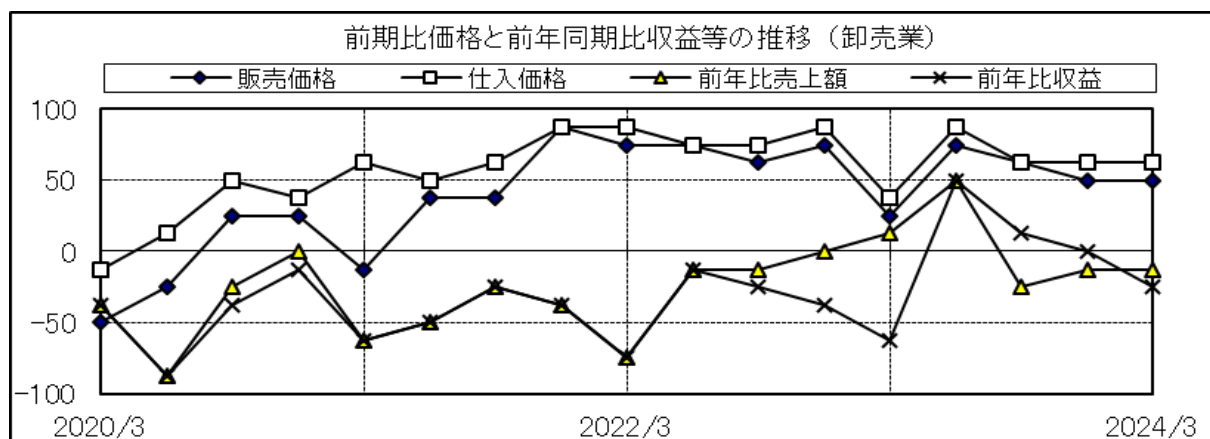
今期の業況判断 D.I. は△50.0 で、前期比 37.5 ポイント下降、前年(△75.0)比で 25.0 ポイント上昇した。地区別 D.I. の水準は、浦河・静内地区は下降、様似地区は横這いとなった。売上額判断 D.I. は△37.5 で、前期比 37.5 ポイント下降した。収益判断 D.I. は△37.5 で、前期比 37.5 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
販売価格	62.5	50.0	37.5	37.5
仕入価格	62.5	62.5	50.0	50.0

販売価格判断 D.I. は 37.5 で、前期比 12.5 ポイント下降、前年(25.0)比 12.5 ポイント上昇した。仕入価格判断 D.I. は 50.0 で、前期比 12.5 ポイント下降、前年(37.5)比では 12.5 ポイント上昇した。業種別では、水産・食品は販売、仕入価格ともに下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	25.0	0.0	0.0	0.0
人手状況	0.0	0.0	0.0	0.0

残業時間判断 D.I. は 0.0 で、前期と同水準となり、残業時間に変化はなかった。

人手過不足判断 D.I. は 0.0 で、前期と同水準となり、人手不足感に変化は無かった。

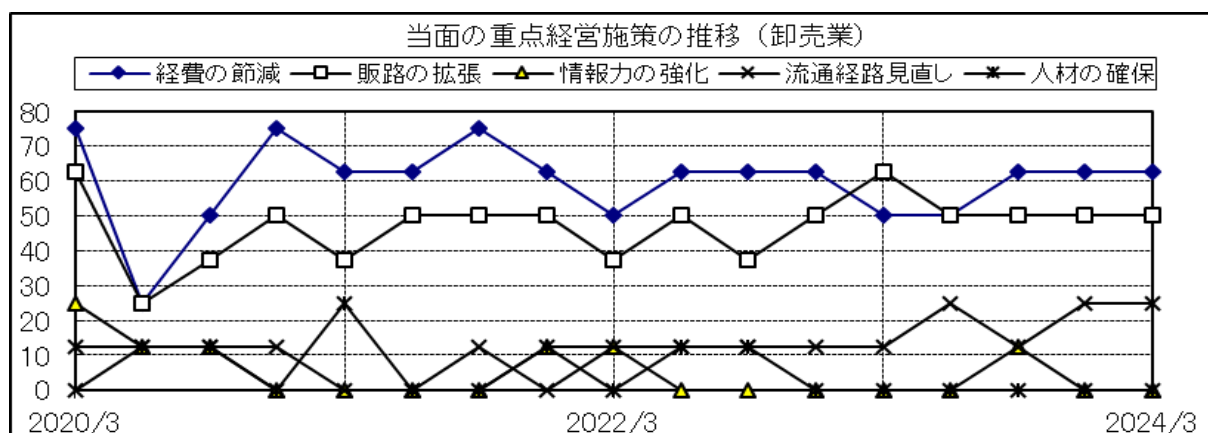
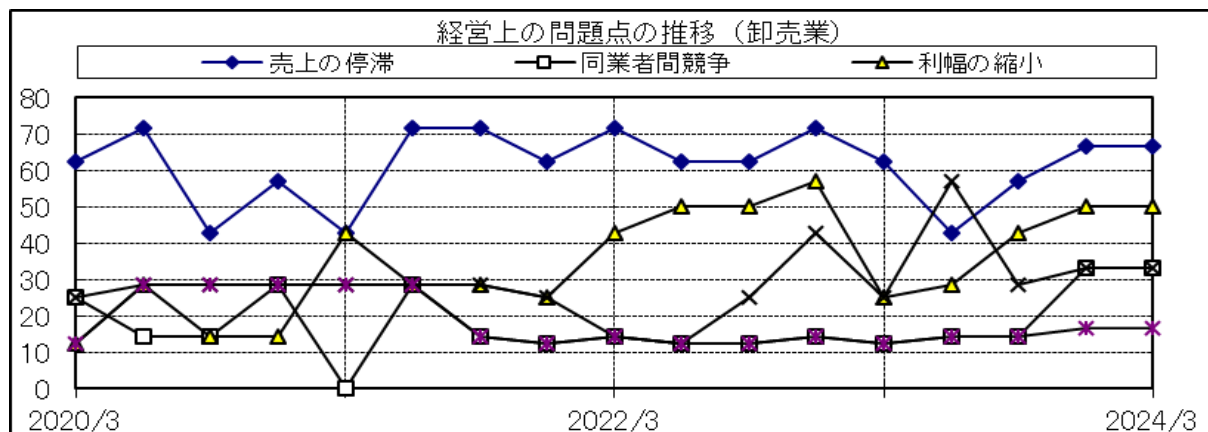
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は△12.5で、前期(△25.0)比12.5ポイント上昇した。
設備実施企業割合は12.5で、前期(12.5)と同水準となった。設備投資は、前期1社に対し、1社の実施となった。来期の設備投資は0社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が75.0%と最も多く、次に「取引先減少」37.5%、「同業者競合」・「利幅縮小」・「値上要請」が25.0%、「人件費増加」・「諸経費増加」・「天候不順」・「為替レート変動」が12.5%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が75.0%と最も多く、次に「販路拡大」50.0%、「情報力強化」・「人材確保」・「不動産有効活用」が12.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は0.0と、今期比50.0ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は37.5と、今期比75.0ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は37.5と、今期比75.0ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は37.5と、今期と同水準を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は50.0と、今期と同水準を見通している。